

広報

いしかわが

2009(平成21年)

2月号 40号

今月の内容

- | | |
|------------|--------|
| 雪あかり2009 | 2P |
| 北日本雪合戦大会 | 3P |
| 小学校適正配置公聴会 | 4P |
| むらづくりフォーラム | 5P |
| 地域レーダー | 10~11P |

写真■懐かしいふるさとの灯
(2月8日・川舟地内の雪あかり。関連2ページ)

幻想の灯

冬2009



今年の干支「牛」を作りました（前郷）

2月7日と8日の2日間、恒例の「雪あかり2009 in しわが」が、雪あかり実行委員会の主催で行われました。



ほっとゆだ駅前の巨大モニュメント

今年の雪あかりには町内55の団体のほか、一般世帯およそ700戸が参加し、それぞれ趣向を凝らした雪あかりに火がともされ、西和賀の冬の夜を彩りました。

メイン会場のほっとゆだ駅前に巨大なモニュメントが作成され、7日の開会セレモニーでメインキヤンドルに点火され、雪あかりがスタートしました。

「2日間で1万5千本ものろうそくで彩られる」（佐藤一久実行委員長）といわれる雪あかり。今年の雪あかりでは、干支である「牛」にちなんだ作品が多く作られていました。7日の夕方まで、町内各地で雪像を作る姿がみられました。

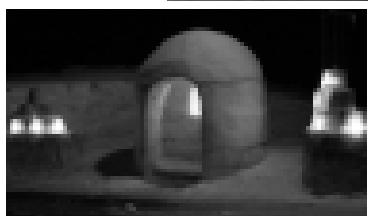
雪あかり2009

in しわが

一般家庭でも力作ぞろい！



立派な牛が▶
お目見え
(湯田)

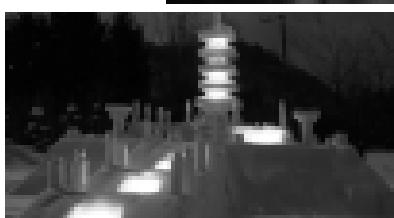


◀ ひっそりと
照らされる
かまくら(柳沢)

「べご」。
ちゃんと
つながれて
います(耳取)



◀ 大きな
五重の塔も
(若畑)



各団体の作品



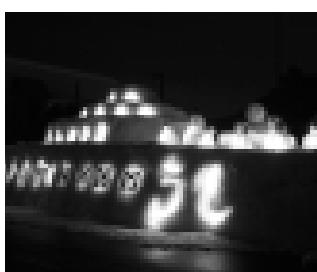
雪見櫓が今年も登場(湯本) 「火の用心」西和賀消防署 下前と左草を結ぶ「あかりの小路」



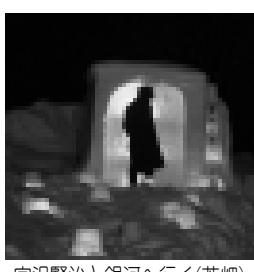
湯田ダム管理支所の作品



錦秋湖SAの遊歩道も照らします



宮沢賢治と銀河へ行く(若畑)



古里の家。あたたかい
光がこぼれます (川舟)



川舟地区に咲いた
カタクリ

き 熱 戦い 西和賀の

ほつとゆだ 2009北日本雪合戦大会

1月30日から2月1日にかけ、ほつとゆだ2009北日本雪合戦大会が湯本小学校校庭を会場に行われました。大会には一般の部、ミックスの部を合わせて、町内10チームを含む66チームが参戦。雪の舞う中、熱戦が繰り広げられました。

強かつた『銭形平次』

一般の部決勝戦では、前年度優勝チーム銭形平次（紫波町）と南部レイダース（西和賀町）が対戦。南部レイダースは激戦の末惜しくも敗れ、銭形平次は4連覇を達成。王者の貫禄を見せつけました。

決勝トーナメント2回戦で銭形

平次と対戦した町内出場チーム・ラウンダースの高橋寛監督（湯田）は「強い」の一言。レベルの違いを見せ付けられた。来年はぜひともリベンジを果たしたい」と感想を話していました。

ミックスは『スノ駒澤田部隊』

ミックスの部決勝戦では西和賀ファイヤーズB（西和賀町）とスノ駒385澤田部隊（宮古市）が対戦しました。前年度優勝の西和南部レイダースは激戦の末惜しくも敗れ、銭形平次は4連覇を達成。王者の貫禄を見せつけました。



強さを見せ付けた銭形平次

大会結果

一般の部①銭形平次②南部レイダース③西部レイダース（西和賀町）
③ゆだホワイトベアーズ（西和賀町）
ミックスの部①スノ駒385澤田部隊②西和賀ファイヤーズB③サク



一般の部準優勝の南部レイダース

昭和新山大会出場チーム

（2月21日・22日、北海道壮瞥町）
銭形平次・南部レイダース・ゆだホワイトベアーズ・ラウンダース・クールズ



ミックスの部優勝はスノ駒385澤田部隊

ビクトリースローとは？

ビクトリースローは、試合終了の時点で両チームとも同じセット数、同じポイント数で引き分けた場合に行われます。サッカーのペナルティキック（PK）のように、両チームからそれぞれ5人のメンバーが一人ずつ、雪だるまのターゲットをめがけて雪玉を投げ、ターゲットに当たった数が多いほうが勝ちです。（同点の場合は得点差が出るまで交互に投げ続けます）

今大会の決勝トーナメントでは、ミックスの部の準決勝でビクトリースローが登場。選手たちは狙いを定め、慎重に雪玉を投げていました。



みごと命中させた澤田部隊

小学校適正配置公聴会　町内7会場で

町では、1月26日から2月6日にかけて町内7箇所の会場で小学校適正配置に関する公聴会を行いました。公聴会では、これまでの経過と過去の説明会などで出された主な課題、統合した場合の校名の案を説明し、地域の皆さんとの意見交換を行いました。

主な質問・意見

問 校舎の跡地利用、地域活性化については具体的に校舎をどのように利用するのか、またどのように地域に活力をつけるのかを地域の方々は期待していると思います。具体的にどのように考えていますか。

答 町としては地域の皆さんからじつくり意見を聞きながら進めていきたいと思います。今すぐこうしたいという案は持っています。

問 要望書が提出された学区があると聞きましたが、その要望内容は。

答 もっと住民合意を得て進めることが、保育所、小学校、中学校、高等学校の教育全体のデザインを示して統合を進めること、統合後の教育効果について具体的に示すこと、学校を廃校することは若者が定住する町づくりに逆行する、統合を進める場合は廃校利用の具体的な計画を示してほしいなどがされています。

問 適正配置の説明を受けたのは2回目だが、なぜ統合が必要なのか分かりません。旧湯田・沢内が合併したが何一つ良いことがありません。町が言う

とおりに小学校を統合して、安心して子供を預けられる根拠はどこにありますか。

小学校統合は、合併前から教育環

境を整備するために必要であることが予想されました。統合は合併後に考えていくことが確認事項でした。なぜ統合しなければならないのかは、子供の可能性を十分に開発・発揮させることができ教育であり、ある程度の人数で切磋琢磨できる条件整備が教育には必要と考えます。

問 私たちが千人近い署名をもって町長に要望書、議会に請願書を提出しましたが、この回答が全くありません。学区ごとに十分話し合いをしてほしいと要望しましたが、それに対しても、この公聴会だけで済ませるのですか。

答 この要望書・署名を読んで、考え方直さなければならないと思い、その行動のひとつとして行ったのが公聴会です。公聴会を1回、2回やつて回数をこなすだけとは考えておらず、何回でも話し合いをしたいと考えています。

問 議会の議決を得て学校統合が決まることがありますか。

答 最終的には議会の議決を得ることになりますが、その前に目的や手立て、学校がなくなることによる地域活性化の不安解消などを分かつていただいたうえで議会提案したいと考えています。

問 例えば通学距離4キロの子供はスクールバスで5分あれば着きますが、1.5キロの子供は歩いて30分かかるのが現状。統合後もそのままですか。

問 もしこの問題が2年後、3年後ということでは、放つておけない状況なので、3月議会に提案出来ない場合は早急に耐震補強をしなければならないと考えています。

問 答申書の理由（3）に「各2校とした場合、複式学級の解消にはならないなど将来的な見通しから各1校の結論に達している」とありますが、各1校にした場合いつまで複式にならないで済みますか。

答 平成18年度の出生数から平成25年度までの児童数が推測できます。例えば沢内地区では、平成25年度で1年生16人、2年生21人、3年生20人、4年生15人、5年生25人、6年生16人、全校児童113人の学校となります。2校にした場合、単純にこの数を2で割ると大体50人規模の学校になることがあります、学年によって数の差はありますが、まもなく複式になると見込まれます。

問 跡地利用について、周辺部と中心部の地域格差があるといいます。できれば町民課の窓口業務が支所としてあって、1人でも職員がいれば総合支所のようない用もできると思います。将来的には企業誘致なども考えられます

が、ATMも置いたりして行政的な総合施設としてはどうでしょう。

■ 質問

に協議しながら、そのような総合支所的な考えを含めて検討したいと思います。

意見

・ずっと一緒にクラスでいることにより、勉強、運動もその子の位置が固定化され、いじめなどがあった場合、我が子がそうだったら不安だという思いがあります。

・貝沢や越中畑などと、ある程度人数のあるところを一緒に考えるのはおかしい。町も農協も合併した、残るのは学校ぐらいではないでしょうか。最初から統合ありきの話では地域は滅びます。

・前回の懇談会にはPTAから2人しか参加していませんでした。実際に参考にした時クラスに何人いたのかを思い出してください。年配の方々も自分が学校に行つてほしいと思いました。30人以上はいたと思います。今、実際に通つている子供達は1学級何人か?年配の方にも今が異常であることに気づいてほしい。

・大人の感情の問題。学校がなくなれば活性化が問題だと言うが、地区運動会にも行かないで、そういうことを言つても話になりません。大人が知恵を出し合つて話し合わない悔いを残すと思います。

西和賀むらづくりフォーラム



発表を行った小澤さん(右)と佐々木さん

ンド化について」と題しての講演が行われました。

また、恒例の地域特産品加工コンクールもフォーラムに合わせて行われ、会場にはさまざまな作品が出品されました。

「わらび加工品」「山菜その他加工品」「クラフト工芸品」の3項目について出品された作品から、6人の審査員が最優秀賞ほか全10点の作品を選びました。

2月13日沢内バーで、北上地方農林業振興協議会による西和賀むらづくりフォーラムが行われました。「魅力ある地域づくりの実践」をテーマとしたこのフォーラムは、西和賀地方の地域資源を生かして、技術を伝え、実りある交流活動を行い、より豊かな地域づくりを行うことが目的です。

当日は、沢内学校給食共同調理場の学校栄養職員、小澤理恵さんと、農業委員の佐々木シラ子さんによる事例発表が行われました。小澤さんは学校給食における地場産物の利用についてを話し、佐々木さんは子どもの畑「食育園」での食育の取り組みを発表しました。会場には100人を超える参加者が来場。熱心に発表に耳を傾けていました。

昼食後には、遠野市の多田自然農場代表取締役の多田克彦さんによる「地元素材を活用した商品化、ブラン



最優秀賞を受賞した三上さん

最優秀賞は泉沢の三上タミ子さんの「行者ニンニクの親子漬」が受賞。三上さんは「家で栽培しているギョウジヤニンニクのつぼみを試しに漬けて食べてみたらおいしかった。近所におすそわけしたら好評で自信を持つた」と話し、自身3度目となる最優秀賞の受賞を喜んでいました。

これらの出品作品には作り方も記されているため、コンクールの会場では出品作品をつまみながら感心している姿が見られました。

また地域の団体や個人による「風呂敷市」も開かれ、農産物やその加工品手芸品などを持ち寄っての展示即売でございました。

伝統のクリーン活動 湯田中が優良校表彰

湯田中学校では、地域の清掃活動に加え、町内で行われるさまざまなイベントに積極的に参加し、ボランティアや清掃奉仕活動を行っています。10年以上続けられている伝統となっています。

湯田中学校のこれらの活動が「環境美化教育優良校」として認められ、2月6日、清涼飲料メーカーなどで構成する社団法人食品容器環境美化協会から表彰されました。

同協会岩手地方連絡会議の照井清平理事が湯田中学校を訪れ、生徒会長の高橋優木君（野々宿）に表彰状を手渡し、高橋君は「今回の受賞は、先輩方から伝わる活動の



表彰状を受ける生徒会長の高橋君

積み重ねによるものです。地域の皆さんにも感謝しながら、今後も続けていきます」とあいさつをしました。

研修では、岩手県総務部税務課に所属する岩手県地方税特別滞納整理機構の滞納整理担当課長、小向哲さんが講師を迎え、「税金の納税に関するお話を題した講演でした。小向さんは、憲法が行われました。小向さんは、憲法で国民の義務として定められている「納税の義務」、滞納した場合に発生する「延滞金」、また自己破産しても税金は免除にならないことなどを、実務経験の事例を交えながら説

明。また「納税が大変で困っている人がいたら、早めに役場などに相談するよう教えてあげてほしい」と話していました。受講者は「普段はなかなか聞けない話の内側を聞くことができ、有意義な研修だった」と話していました。この研修は、昨年までは納税貯蓄組合長向けに行われていましたが、住民に広く税金のことを探つてほしいという観点から、今年は行政区長や一般住民にも広く参加を呼びかけました。



税について講演する小向さん

『自主防災組織』の立ち上げに ご理解をお願いします

町ではこれまで、今年4月1日の全地域への自主防災組織の立ち上げを想定し、行政区長協議会による先進地視察や学習会の場を通じて理解促進に努めてきました。これから、各地域の総会などで方向性を協議・決定していただきますが、これを前提に自主防災組織の必要性や内容などについてお知らせします。

① 自主防災組織とは

大地震などの災害では、火災の発生や道路の寸断、断水や電力供給の停止、死傷者の発生など被害が広範にわたり、消防・警察・役場などの公共機関だけでは十分な対応ができない事態が考えられます。そのような時に被害を最小限にとどめるためには、地域の皆さんがあたかに協力し合い、日ごろの防災活動はもとより、災害から命や財産を守る活動に取り組んでいただくことが必要です。自主防災組織とは、それぞれの家庭での日ごろの備えや、いざというときの心構えとともに「自分たちの家庭や地域は、自分たちの力で守ろう」という“共助”的意識のもと、地域の防災活動を効果的に行うための組織です。

② 主な活動内容は

自主防災組織の活動内容は、「日常的」なものと「災害時」の2つに大別されます。

「日常的」事項の主なものとしては、防災訓練の実施や防災情報の収集、地域内の災害危険箇所の調査、防災意識の普及活動などがあります。

一方、「災害時」の代表的な活動としては、避難誘導や初期消火、地域住民の安否や施設等の被害状況の調査、負傷者などの救出救護、炊き出し作業などがあります。

したがって、これらの活動を系統的かつ迅速に対応していくためにも自主防災組織立ち上げに際しては、事業の目的や内容、役員の選任や任務、組織の運営等に関する規約を定めていただきます。併せて、組織編成や任務分担、防災意識の普及、防災訓練、初期消火、救出救護、避難対策、災害時要援護者対策などについて防災計画も作成していただきますが、それぞれ身の丈にあった計画を目指すこととし、特に年間活動計画にあっては過剰負担にならぬよう、1活動からのスタートでも結構です。

③ 組織編成のくくりは

自主防災組織には定まった編成規模はありませんが、町としては、毎日の生活の中での顔見知りや古くからの連帯感などから判断して「行政区」を編成の基本単位と考えています。しかし本町の現状では、行政区を構成する世帯数が極めて少ない行政区や日中の不在者が多い行政区もあることから、複数の行政区での編成も検討していただく必要があります。

また自主防災組織の構成員は、とかく世帯主と思われがちですが、一般家庭の生活形態をみると女性が家事を担当することが多く、火災の未然防止の面からみてもその役割は非常に大きく、実質的な火元責任者にあることから、女性の皆さんからも積極的に参加していただくことが必要です。こうした趣旨で、町では「婦人消防協力隊」の組織力の向上を目指しているところですが、その必要性とは逆行し、設置した協力隊を解散しようとする地域も見受けられます。

自主防災組織と婦人消防協力隊は、どちらも「自分たちの家庭や地域は、自分たちの力で守ろう」とするものですから、自主防災組織の中の「女性部」的な定義で、すでに協力隊が設置されているところは継続の形で、未設置の地域にあっては組織化の方向で検討をお願いします。

④ 町も支援します

町からの自主防災組織の育成・支援策として、次のことを考えています。

- ①設立に向け、地域説明会等の要請があった場合、これにお応えします。
- ②設立後の防災研修会、防災訓練等の活動実施について、消防署などとの連携を図り、講師や指導者紹介などのお手伝いをします。
- ③防災マップ作成資料や要援護者情報などの提供に努めます。
- ④予算の範囲内で、防災資機材の支給に努めます。

■自主防災組織に関するお問い合わせは…総務課 ☎ 82-3281（管財・防災グループ）

税務会計課からのお知らせです

平成20年度差押財産公売結果

平成20年11月7日執行 差押財産公売結果				
(単位:円)	公売財産名称	入札数	見積額	売却決定金額
20-001	土地 ①西和賀町湯本30地割82番地29 〔「原野」面積211.33m ² 〕 ②西和賀町湯本30地割82番地30 〔「雑種地」面積17.33m ² 〕	入札なし	1,830,000	0
20-002	土地 西和賀町沢内字若畑7地割1番61 〔「原野」面積2,906m ² 〕 ※動産との一括公売	1	448,000	450,000
20-003	除雪機 フドーSS317A	10	550,000	1,351,500
20-004	軽自動車 ニッサンクリッパーバン	3	250,000	410,000
20-005	ブルーセラミックヒーター	4	5,000	12,000
20-006	FF式ヒーター	3	15,000	31,000
20-007	シュレッダ	2	2,000	6,000
20-008	キャビネット	2	1,000	3,000
20-009	灯油タンク	2	2,000	3,501
20-010	時計	2	100	101
	計		1,273,100	2,267,102

平成20年12月10日執行 差押財産公売結果

売却区分番号	公売財産名称	入札数	見積額	売却決定金額
20-001	土地 ①西和賀町湯本30地割82番地29 ②西和賀町湯本30地割82番地30	1	1,280,000	1,280,000
20-011	ショベルローダ	6	630,000	1,401,000
	計		1,910,000	2,681,000

※売却区分番号20-001、20-002以外の公売財産は、上記売却決定金額に消費税相当額(5%)を乗じた金額が加算され、納付されます。

税務会計課では、納期内納付の呼びかけや納付に応じていただけない方に対しても催告などを行ない、税収及び税負担の公平性の確保に向けた取り組みを行っています。ほとんどの皆さんには納期内、または督促や催告の段階で納付いただいておりますが、一部の催告などに応じていただけない滞納者に対しては、税法により滞納処分を行っています。今年度は、滞納者から差押えた財産の公売に本格的に着手し、町

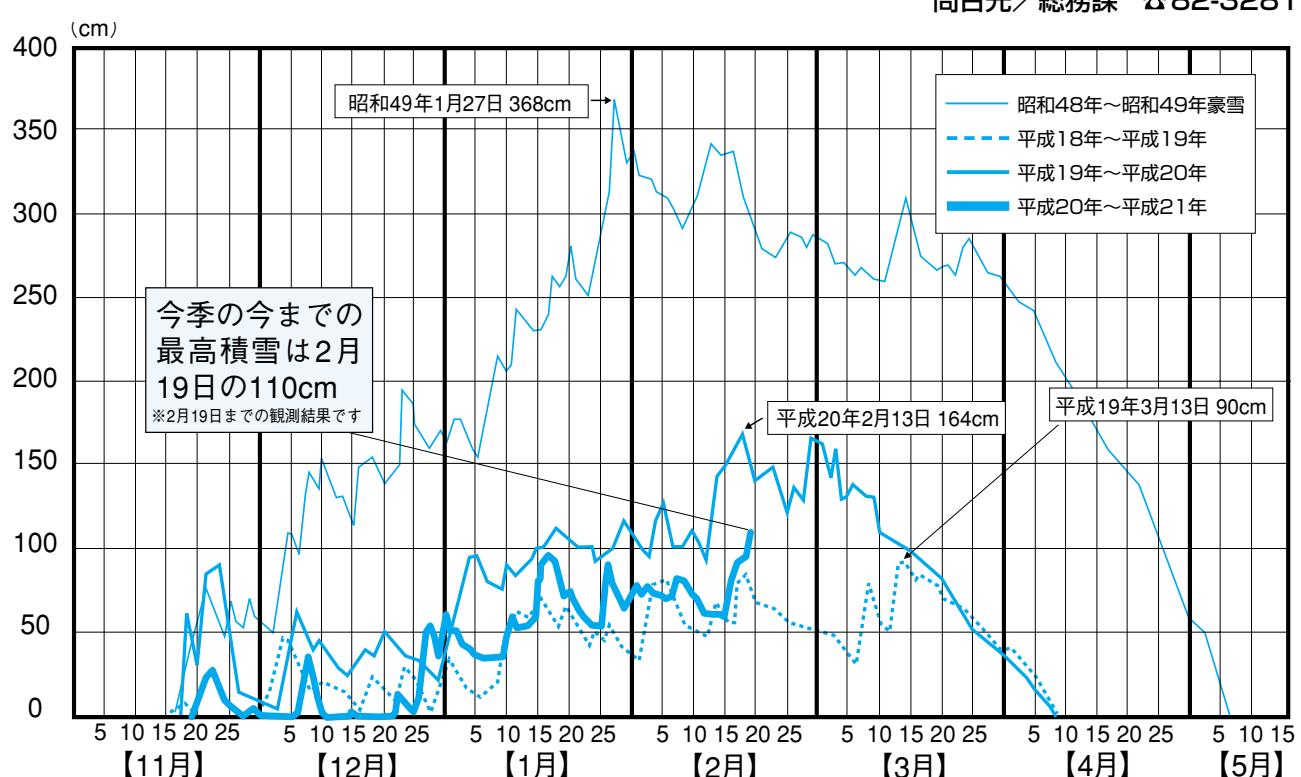
税滞納額の圧縮に努めています。11月と12月に行なった差押財産公売では左表のとおり成果を上げることができました。
税金の納付に当たっては、原則として納期内の納付にご協力いただきておりますが、事情により納付困難な場合は納付の猶予や延滞金の免除などが税法で認められておりますので、そのような場合にはお早めに税務会計課へご相談ください。

■問い合わせ先／税務会計課
☎ 82-3283

問合先／総務課 ☎ 82-3281

積 雪 調 査 結 果

西和賀町では、町内1か所（川尻地内）で独自に積雪量を観測しています。場所は湯田庁舎付近です。調査結果は独自のものなので、テレビ報道や新聞報道とは数値が違う場合があります。



西和賀の雪を体験

2月14日、いわて定住・交流体験ツアーやが行われました。岩手県主催のこのツアーは、首都圏に住む方から岩手を訪問してもらい、岩手のファンをつくるとともに将来的には定住につなげていくことが目的です。

ツアーハには21人が参加。一行はまず雪国文化研究所に向かい、かんじきをはいての雪上歩行を体験しました。東京から参加した女性は「思つたより雪の感触が楽しい」と感想を話していました。その後、宿泊する湯本温泉のホテル対滝閣に移動し、さっそく西



思うように歩けない雪上歩行を体験

和賀の冬の風物詩雪あかりづくりも体験。手づくりの雪あかりに火がともると、一行はその美しさにみとれました。

西和賀の雪を体験

首都圏から21人が来町

商工会女性部パン作りにチャレンジ

ハムロールとマヨネーズパン



パン作りに取り組む女性部員

2月16日西和賀商工会女性部によるパン作り講習会が、西和賀高

校の酒井孝子校長を講師に、同校の調理室で行われました。講習会には女性部員20人あまりが参加しました。「パン作りが趣味で、退職後はパン教室を開きたい」という酒井校長。今回のパン作りでは「ハムロール」と「マヨネーズパン」の作り方を説明しました。講習会に参加した女性部員は「イースト菌と塩は仲が悪いので、直接触れれないよう気につけ」など講師の説明を聞きながら、パン作りに挑戦しました。およそ1時間半ほどで焼きたてのパンが完成。さつそく手作りパンを味わいました。

商工会女性部長の高鷹峰子さん

(湯川)は「酒井校長に講師を依頼したところ、快く引き受けください実現した講習会です。地域と学校とのつながりですね」と話していました。



見事に焼きあがった手作りパン



POSTCARD

029-5512

50円切手
を貼って
ください

和賀郡西和賀町川尻 40-40-71

西和賀町役場湯田庁舎 広報係 行

ふりがな
氏名

住所

電話

年齢／歳、性別／男・女

氏名の記載を

- ・希望する
- ・希望しない

入札執行状況

次のとおり入札を行いました。施工箇所などの詳細については、担当課までお問い合わせください。

1月20日執行分

番号/1(建設課)
事業名/歩道設置工事に伴う配水管移設場所/丸志田
内容/配水管布設工379.6mほか
契約者/株式会社近藤設備
契約額/1,653万7,500円
工期/H21.1.24~3.27
落札率/98.6%

工事名は一部省略して記載しています。落札率は、税抜きの予定価格と税抜きの請負額から計算しています。また、契約額については税込みの金額を表示しています。

ワラ人形に託す無病息災 白木野人形送り



手分けして人形を作り上げました

1月19日は、毎年「白木野人行

送り（町指定無形民俗文化財）

の日。一年間の地域の無病息災を祈る祭で、正確な記録は残っていないものの、その始まりは江戸時代中期とも伝えられている冬の風物詩です。

祭の当日、白木野地区住民がそ

れぞれの家からワラを持ち寄つて白木野公民館に集合。手分けをして、部位ごとにワラ人形を作り始め、出来上がった部位を人の形に組み上げます。子孫繁栄を願つて、男性のシンボルを強調するのがならわし。仕上げに険しい顔つきの面を張り、およそ1時間半ほどで身の丈1メートルあまりのワラ人形が完成しました。

人形は、ちょんまげにかみしも



ほら貝を先頭に地区を行進するワラ人形

をはおり、腰には大小2本の刀を差した武者の姿をしています。この人形が肩に担がれ、ほら貝と太鼓を先頭にして地区内を約1キロ練り歩き、地区の境にある栗の木に人形を縛りつけました。この人形が、地区内に疫病など災いが入つてこないよう、にらみをきかせるといわれています。

なお、結ハウス（小繫沢）前に設置されているワラ人形も白木野

地区住民の手によるもので、日本一大の大きさを誇っています。



金メダルを手に講演をする三ヶ田さん

「'92年のアルベルビル冬季オリンピックで金メダルを獲得した三ヶ田礼一さんが、2月5日に湯田中学校を訪れました。三ヶ田さんは「夢をあきらめないで」と題して講演。八幡平市（旧安代町）出身の三ヶ田さんは、小学5年生からオリンピック出場という夢を持ち、ケガや挫折も経験しながらも決してあきらめず、15年後にオリンピック出場を果たしました。三ヶ田さんは自らの経験を例に挙げながら「チャンスは誰にでも平等に訪れます。絶対にあきらめなければ、必ずその夢をつかむことができます」と話しうまく話をしました。

講演を聞いた生徒は「三ヶ田さんのように夢を持ち続けていきたい」と話していました。

メダリストから学ぶ 『夢をあきらめない』

志賀来スキー場に集まつた園児や家族はおよそ130人。この日の夜から翌8日の夜にかけて行われた雪あかりに向けて、みんなで力を合わせて雪像を作りました。

作業は手分けをして行われ、バケツに雪をつめてケーキのような形に仕上げたり、お母さんと一緒に大きな雪玉を転がして雪だるまを作る子どもたち。中には作業を忘れて滑り台を作つて遊び出す子どもたちもおり、志賀来スキー場は子どもたちの歓声でにぎわいました。

作業が終わると、子どもたちが大好きなアニメや映画のキャラクターができあがり、夜にはきれいな雪あかりに彩られました。

2月7日、川舟保育所、せんだん保育所、新町保育所の園児との家族による「ちびっこのつどい」が行われました。

きれいな雪あかりを作ろうね ちびっこのつどい



上手に雪あかりが作れました



"ふとんカト"たちの取り組みのようす

決勝には東横綱「仁風」（高鷹仁さん）と西横綱「長谷山」（長谷山利則さん）が順当に勝ち進みました。見合った顔は気合十分。決戦の末、長谷山が寄り倒しで昨年の霸者仁風を破り、2年ぶりの優勝をつかみとりました。

トーナメント形式で行われた奉納相撲では、14人の力士が頂点を目指し、雪で作られた土俵の上で熱戦を繰り広げました。そのユニクな姿の取り組みでは、倒れるとなかなか起き上がることができず、また「ただいま勉強中のため休場」「両国で稽古中のため休場」などエーモアあふれるアナウンスもあり会場は笑いに包まれました。

2月11日、湯川温泉中の湯にあ
る神社の前で、どんと祭奉納相撲
が行われました。ふとんとまげの
かつらをつけた力士たちの取り組
みを、住民などおよそ70人が見守
ました。

長谷山2年ぶり優勝！
湯川温泉で奉納相撲

綱引きなどの運動会ではおなじみの競技のほか、かんじきをはいてラグビー・ボールをける競技や雪上大玉ころがしなど、冬ならではの競技も登場。前日の雨で固くなつた雪の上を大玉がよくすべり、選手が玉をおさえきれない様子も。

競技終了時点で高下・新山支部と若畠支部が同点。じゃんけんによる決戦の末、今年の優勝は高下・新山支部に決定されました。

2月15日、川舟小学校のグラウンドで、恒例の雪上運動会「第31回川舟小学校区学区民雪祭り」が同校教育振興会などの主催で行われました。地区民や川舟小学校教職員などおよそ120人あまりが参加し、冬の空の下で心地よい汗を流しました。川舟小学校区では毎年この時期に、若畑支部、高下・新山支部、川舟・丸志田支部の3チーム対抗でこの雪まつりを行っています。

雪の上、熱い戦い 川舟で冬の運動会



おなじみの綱引き。ただし足場は雪

趣味で人生豊かに

「好きなことをして過ごすのが

なにより楽しい」



■手芸
照井 セツさん
(甲子)

(26)

は違いますが、書も好きです。本当に、ただ好きなことを気の向くままにやっているような感じですよ。

材料はどんなものを

特にいつから、というのを見た覚えがありますが、それは覚えていません。私が子供の頃、親がいろいろ端で細かいものを作っていたのを見た覚えがありますが、それを真似してやつてみたのが始まりだったのでしょうか。誰かから習ったわけでもなく、自分で作つてみて覚えてきました。

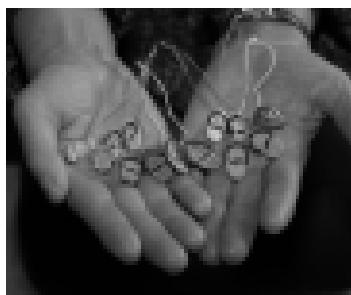
指先を使う細かい作業が多いので、脳の活性化にも良いと思います。

「どんなものを作りますか

さまざまなですね。ひもで作るぞうり、紙を三角に折つて組み合わせて作る人形、編み物やパッチワークもおもしろいです。また手芸と

楽しいことは

手芸が本当に好きで、何かをやつているだけで楽しめます。好きことをして過ご



かわいいミニチュアぞうり

この地区は家も少なく、誰かと一緒に手芸をするには外に出向かなければなりません。自分の足で外に出向き、手芸仲間たちといっしょに作り、いつまでも楽しんでいくことですね。

折り紙細工などは、ほかの人を作ったものをもらつてきて、それをほぐしてみて作り方を勉強します。またしばらく作つていないと作り方を忘れ、前の作品をほぐしてみたりすることもあり、その過程も楽しみのひとつです。

今後の目標は

す時間は、まさに生きがいだと思っています。また何をするにしても、誰かと一緒にやるもの楽しい。一人だと「ここをこうしてみたら」と相談してみるとできないので。

沢内年代記（巣郷本） =歴史民俗資料館=



（西和賀町指定有形文化財）

沢内年代記は、南部藩政時代の沢内通り（現在の西和賀町）の歴史書です。延宝元年（1673年）から明治27年（1894年）に至る約200年あまりにわたり、民間の何もの人々の手によって追加記録されてきました。西和賀の凶作や気象、行政、物価、一揆などの社会的事件、伝説などが記されています。

沢内年代記は各地に写本（異本）がありました。現在ではほとんど見当たりません。この「巣郷本」には、巣郷や左草の記事が多くあります。

文化財を訪ねて

(26)

共にあゆんだ道のり

平藤

亮一さん(81歳)

恵子さん(78歳)
=左草=



昭和25年に結婚した亮一さん・恵子さん夫婦は息子さん夫婦と孫娘との5人暮らし。今年で59年目を迎えます。

亮一さん……

どんなときでも二人で助け合って生きてきました。妻には、元気でそばにいてくれてありがとうございます。

恵子さん……

夫はこれまで、いろいろな面で助けてくれました。感謝の一言です。

芸術・文化を楽しんで ⑯

ほうゆ 宝湯会

■紹介者 会長 高橋 恵子さん(耳取)



—きっかけは

会としての結成は8年ほど前だと思います。前身となる団体でも芸術文化協会に加盟して活動していましたが、師匠が変わることになり、それを機会に会の名前も改め、再出発しました。現在は6人の会員で活動しています。

—練習はどれくらい

毎週月曜日と土曜日を練習日とし、月曜日の班と土曜日の班にわかれ、それぞれ練習をしています。どうしても都合がつかず練習に参加できないときもありますが、会員それぞれが趣味として、また体を動かすことが楽しく、なんとか時間をとって習っています。

—楽しいところ、難しいところは

やはり先生に習ったとおりに踊ると楽しいですね。難しいところは、舞踊には「これでいい」という頂点がないところでしょうか。やればやるほど難しくなってくるし、またやればやるほど味が出てくる。そこが楽しさにも変わるところですね。

—発表の場は

町の芸術文化祭のほか、習っている流派の発表会、また浴衣会や新年会などで発表の機会をもらっています。いろいろな方々に私たちの踊りを見ていただき、喜んでもらっています。

—今後の目標は

会員みんなが健康で、日々の練習も楽しくやっていければと思っています。また若い人など、一緒に習う人が増えてくれるともっと楽しくなります。ぜひ時間をみつけて参加してほしいですね。



雪は雪でしかないのだけれど、このように魂を入れられた雪は何ものにも代えがたかった。日常の苦も不満も愚痴もみんな一瞬のうちに消し去る不思議な灯かりだと思った。

雪は雪でしかなく優しい灯かりで心の襞まで照らしてくれた。母の目や手のぬくもりを感じさせる灯かりだと思った。

雪は雪でしかないのだけれど、このように魂を入れられた雪は何ものにも代えがたかった。日常の苦も不満も愚痴もみんな一瞬のうちに消し去る不思議な灯かりだと思った。

西和賀春秋

町長 高橋 繁

西和賀町の人々はお互いに心を合わせ、雪に魂を入れ、雪を宝に変えた事実は燐と輝く町づくりの記録として忘れてはならないと強く感じたこ

おすすめの一品 ⑯

巻きもち

■沢内地区に伝わる郷土食

【材料】(15cm~20cm3本分) もち粉250g うる粉250g こしあん200g 黒ねりごま大さじ3 砂糖適量 塩適量

【作り方】

- ①粉に塩を少量入れ、もち粉は水で、うる粉は湯でこね、混ぜ合わせて蒸します
- ②こしあんに砂糖、塩を加え練り上げておきます
- ③練りごまにぬるま湯少量を入れ、砂糖、塩を加え練り合わせておきます
- ④①を4等分して②、③とそれぞれ混ぜ合わせ、好みの色を重ねて巻きます(クッキングシートをセロハンテープで止め、その上にのして巻くとよい)
- ⑤少し冷ましてから糸を使って切れます



渦巻き模様のもち。砂糖と塩はお好みの分量で

雪灯かり

2月7日(土)と8日

(日)の夜、町商工会主催による雪灯かりが西和賀町の全区域にともされた。

前の日からリーダーを中心、各職場、各集落、各家庭において、協力しながら、雪像をつくり、灯かりの配置を考え完成させたとのことです。西和賀町のほとんど地区で、世代を超えて雪灯りと雪像に取り組んだということは、これまで聞いたことがなかつたことです。



予約・問合先／東北財務局多重債務相談窓口 ☎ 022-266-5703

自衛隊音楽隊定期演奏会

陸上自衛隊岩手駐屯地では、次のとおり音楽隊第24回定期演奏会を行います。入場は無料ですが整理券が必要です。

日時／3月15日(日)午後3時～
会場／盛岡市民文化ホール

(マリオス)

出演／岩手駐屯地音楽隊、秋田駐屯地音楽隊、岩手県警察音楽隊、巖鷲太鼓部

整理券配布場所／マリオス、フェザン、川徳ほか

問合先／陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室 ☎ 019-688-4311

職場のトラブルで困っていませんか

岩手労働局では、事業主と労働者との間のトラブル(解雇、いじめ、労働条件改悪など)を抱えている皆さんのために、無料の相談窓口を開設しています。

詳しくは、岩手労働局企画室総合労働相談コーナーまたは最寄の労働基準監督署やハローワークにお問い合わせください。

無料相談窓口／0120-980-783

問合先／岩手労働局総務部

☎ 019-604-3002

そのほか

春の全国火災予防運動

3月1日(日)から7日(土)まで春の全国火災予防運動が展開されます。

住宅火災により5年連続して、全国で1,000人をこえる方がなくなっています。住宅用火災警報器を設置し、生命と財産を守りましょう。

西和賀町でも火災が多くなっています。一人ひとりが「火の用心」を心がけましょう。

問合先／西和賀消防署

☎ 84-2507

「シルバー作品展」作品募集

財団法人岩手県長寿社会振興財団(いわてシルバー財団)では、5月9日から11日まで岩手県民会館で行う第21回シルバー作品展に出品する作品を募集しています。

出品者資格／県内に居住する60歳以上の方でアマチュアであること

作品／1人1品までの出品とし、出品者により創作された作品で、未発表のもの

出品料／無料。ただし作品の搬入、返却に要する費用は出品者の負担

応募方法／役場両庁舎、社会福祉協議会各支所に備え付けの申込書に必要事項を記入し、郵送またはファクシミリで提出

応募期限／4月1日(水)必着

応募・問合先／〒020-0015 盛岡市本町通3-19-1 (財)岩手県長寿社会振興財団事務局 ☎ 019-625-7490FAX019-625-7494

求人情報

山人-yamado-がスタッフ募集

湯川温泉御宿末広はコンパクトでプライベートな宿「山人-yamado-」を今春オープンします。山の美しさ、恵み、やさしさをお客様に五感プラスαで体感いただける宿を目指しています。

開業にあたり、志を共にし真心こもったおもてなしを実現するスタッフを募集します。経験不問。

職種／マネージメントスタッフ、サービススタッフ、料理スタッフ、清掃スタッフ、宿直スタッフ

人数／正社員・パート各若干名

その他／就業時間、賃金など詳細はお問合せください。

問合先／湯川温泉御宿末広

☎ 82-3024高鷲まで

戸籍の窓 (敬称略)

1月16日～2月15日受付分

※掲載を希望しない事も出来ます。届け出の際にお申し付けください。

末永くお幸せに

増田 康
田村 智子

貝沢
花巻市

ご誕生おめでとうございます

藤田 小春
高鷲 玲奈

・女・雄幸・川尻
・女・重春・湯川

お悔やみ申し上げます

高橋 英子・80・1月16日・太田
平澤 進・80・1月16日・泉沢
泉川 輝重・77・1月19日・大野
新田 孫作・84・1月28日・両沢
黒瀬 モモヨ・91・2月1日・大野
藤谷 ハル・90・2月6日・湯本
鈴木 英子・69・2月11日・上野々
小田島 友三・70・2月14日・湯本

住民の動き (1月末現在)

項目	実数	前月との比較
転入	6	+1
転出	10	+1
出生	2	+2
死亡	11	-2
人口	7,157	-13
男	3,358	-7
女	3,799	-6
世帯数	2,497	+2

交通事故の状況 (1月分)

	物損	負傷	人身	死亡	飲酒
実数	12	3	2	0	0
累計	(12)	(3)	(2)	(0)	(0)

() は1月からの累計

火災・救急の状況 (1月分)

■火災

区分	火災出場件数	損害額
件数	1件 (1件)	調査中 (0円)

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	2件 (2件)	15件 (15件)	8件 (8件)	25件 (25件)
搬送人員	1人 (1人)	15人 (15人)	8人 (8人)	24人 (24人)

() は1月からの累計



役場から

ごみ収集・火葬業務 実施事業者募集

町では、平成21年5月以降の生活系一般廃棄物の収集運搬業務と火葬及び火葬場管理業務を一括して行う事業者を公募します。業務内容／①湯田地区における生活系一般廃棄物の収集運搬②沢内地区における生活系一般廃棄物の収集運搬、火葬及び火葬場管理

業務実施期間／5月1日(金)～平成22年3月31日(土)

応募資格／西和賀町内に主たる事務所を置く事業者（個人事業者を除く）

受付期間／2月25日(水)～3月19日(木)

※受付期間終了後、選定事業者を対象に説明会を行い、その後入札により実施事業者を決定します。

申込・問合先／町民課 ☎ 85-2111

21年度の国民年金保険料は 14,660円

国民年金は、安定した老後をおくれるように、お互いを支えあう制度です。今から負担し将来に向けて備えましょう。4月からの国民年金保険料は、1か月14,660円となりますが経済的な事情などで保険料を納めることが困難な場合には、保険料の全額免除制度や一部納付(免除)制度もあります。免除を受ける

には申請が必要で、所得によっては免除にならない場合があります。また、口座振替で1年間分を前納すると割引（2月末まで社会保険事務所必着であれば最大3,690円の割引）になる制度やコンビニで納付することもできます。

問合先／町民課 ☎ 85-2111
または花巻社会保険事務所 ☎ 0198-23-3351

「楽しい俳句講座」 参加者募集

町教育委員会では、初心者でも楽しく俳句を学ぶことができる講座を次のとおり開設します。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時／3月5日(木)・12日(木)・19日(木)午後1時30分～

会場／銀河ホール樂屋3

講師／天の川吟社代表

小林輝子さん（湯之沢）

申込・問合先／教育委員会生涯学習課 ☎ 82-2045

国や県から

地域コミュニティフォーラム

県南広域振興局では、地域を元気にするため「必見！地域コミュニティフォーラム」を行います。フォーラムでは、NPO法人結まーるプラス理事長のかわべまゆみさんを講師に迎え、地域マーケティングの講演やモデル的な取り組みをしている地域

の発表、パネルディスカッションを行います。

日時／3月7日(土)13:00～

会場／花巻市なはんプラザ

問合先／県南広域振興局経営企画部 ☎ 0197-22-2812

農楽工楽の和が 郷づくりフォーラム

北上・西和賀地域で農村地域と企業の相互交流により地域活性化に取り組む「農楽工楽クラブ」では、次のとおり農楽工楽の和が郷づくりフォーラムを行います。電話またはファクシミリでお申込みください。

日時／3月7日(土)午後1時～

会場／ホテルニューウェール北上

内容／岩手大学農学部木下幸雄准教授による基調講演、静岡県農地局による事例発表、パネルディスカッション

参加料／無料

申込・問合先／北上総合支局地域農政推進課 ☎ 65-2733

多重債務巡回無料相談会

東北財務局盛岡財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金をかかえ、お悩みの方々からの相談に応じています。必要に応じ弁護士、司法書士などの専門家に引継ぎを行います。お気軽にご相談ください。

相談日／3月18日(水)

会場／盛岡財務事務所（盛岡合同庁舎一号館3階）

予約／3月11日(水)まで

自然保護指導員・管理員・パトロール員を募集

町では、町内の自然を保護するため次のとおり管理員などを募集します。

申込期限／3月13日(金) **申込・問合先**／観光商工課 ☎ 82-3290

募集種目	県立自然公園管理員 (湯田温泉峡)	栗駒国定公園管理員 (南本内岳)	自然保護指導員 (和賀岳)	自然保護パトロール員
募集人数	1人	2人	1人	若干名
業務内容	錦秋湖周辺の監視・草刈り・清掃・動植物等の保護	南本内岳周辺の自然景観や動植物等の保護、利用者への指導	和賀岳周辺自然環境保全地域の監視や動植物等の保護、利用者への指導	町内を巡回して希少植物の盗掘などの監視・保護
活動期間	4月～12月（年間90日）	4月～12月（年間90日）	4月～12月（年間90日）	4月～12月
賃金	年間約60万円	年間約60万円	年間約60万円	ボランティア
応募資格	町内に在住する25歳以上75歳未満の健康な人で普通免許所有者	町内に在住する25歳以上75歳未満の健康な人で普通免許所有者	町内に在住する25歳以上75歳未満の健康な人で普通免許所有者	町内に在住する25歳以上75歳未満の健康な人で普通免許所有者
※ただし、75歳以上でも町長が適当と認める者にあってはこの限りではありません。				

西和賀橋物語

二

ゆざわばし 湯沢橋（川舟）

主要地方道花巻大曲線で横川に架かる橋です。

昭和44年11月竣工。幅員およそ6メートル、延長およそ55メートル。

中村敬二さん・川舟
「子どもの頃、大洪水で自宅近くの田まで水が押し寄せ、当時の木橋が流されたのを覚えています。今は立派な橋になり、堤防もできて安心して暮らせます」



(東側幹線方面から県道方面に向かって撮影)



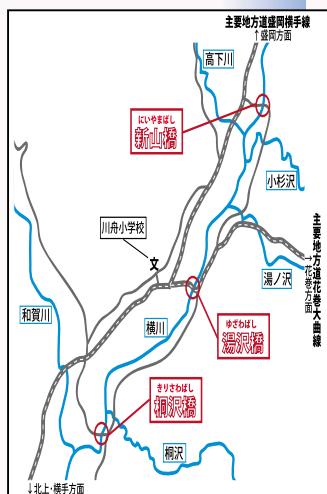
きりざわばし

桐沢橋（川舟）（東側幹線方面下流側から撮影）

主要地方道盛岡横手線と東側幹線をつなぐ橋です。横川に架かる橋です。

平成20年12月竣工。幅員およそ4.5メートル、延長およそ35メートル。

高橋三角さん・丸志田
「小学校に通っている頃の橋は丸木橋で、年に10回も流されました。その後土橋となりましたが昭和34年頃に流され、災害復旧でコンクリート橋ができるまでの間は吊り橋でした。とにかく橋では苦労しました」



商工会女性部さんのパン作り教室におじやました際焼きたてパンをこちらになつてしましました。西和賀高校の酒井校長によるレシピもいただきます。ひとつ自家で挑戦してみようと思います。

(総務課広報係 佐々木真)
(云報編集委員 千田フミ)

てにをは

先日、岩手日報の「ばん茶せんばん」の欄に、盛岡にお住まいの方が「かた雪わたり」という文を寄せていました。久しく忘れていた「かた雪」という言葉に懐かしさを感じ、自分の子どもたちのこと思い出しました。夜眠りにつく前に外をみると凍てつくような寒空に宝石をちりばめたように星が輝き、三日月がくつきり浮かんでいるの頃のこと思い出しました。夜眠りなると信じて朝を待つものでした。

翌朝外をみると、宮沢賢治の童話「雪渡り」の世界そのもののように、雪がすっかり凍り、大理石よりも硬く、朝日が反射してきらきらと光り、一面の銀世界。いつもは歩けない田んぼの上も野原の上も、どこまでも歩いていけるのです。物語の中の四郎とかん子と子狐がキックキックトンとはねているような幻想的できれいな景色の中を、友だちのSさんと夢を語りながらどこまでも歩いていったこと、木と木の間を駆けまわって疲れると白い息をはきながら寝ころんで流れていく雪を見ていたことなど、あの頃から何十年も経っているのに昨日のことのように思い出されます。

2月の半ばというのに今夜は雨、隣の横手市ではかまくらまつり用のかまくらにブルーシートをかける作業に追われていると聞きました。温暖化が深刻になつてきている今は、かた雪もできにくくなつていているのかもしれません。が、もう一度子どもたちのころに帰つて「かた雪」を渡つてみたいと思います。

